



荏原製作所 第2回 ESG説明会

Looking ahead,
going beyond expectations
Ahead > Beyond

2020年10月26日

株式会社 荏原製作所

出席者



取締役 代表執行役社長
浅見 正男



社外取締役 取締役会議長
宇田 左近



IR担当執行役
永田 修

第2回 ESG説明会

1. E-Vision2030とESG経営

◆代表執行役社長 浅見 正男

2. ガバナンス

◆取締役会議長 宇田 左近

1. E-Vision2030とESG経営

代表執行役社長
浅見 正男

荏原の108年、そしてこれから...



1912
日本の近代化

社会インフラの整備
→水インフラの整備

1945
戦後復興と高度経済成長

産業インフラ、都市化による建設需要
→風水力製品および廃棄物焼却設備の開発

1980
情報化社会の進展

半導体の需要増加と市場成長
→半導体製造装置・機器の開発と市場投入

2000
持続可能な社会の模索

環境問題へのさらなる関心
半導体技術の革新の加速
→省エネ製品と再利用技術の提供

2020～
多様性と包摂性のある社会へ

- 持続可能な社会づくり
- 進化する豊かな生活づくり

風水力事業

1912 ポンプ

1921 送風機・ブローア

1930 ターボ冷凍機

1938 コンプレッサ・タービン



1958 標準ポンプ



1963 吸収式冷凍機



2019 新型給水ユニット
業界最小クラスの設置面積



環境プラント事業

1931 急速濾過装置

1971 都市ごみ用流動床炉



1961 ストーカ炉

2002 ガス化熔融炉

2003 EUP



1989 ICFB

2006 ICFG(実証)

2019 ごみ識別AI
クレーン



精密・電子事業

1986 ルーツ型ドライ真空ポンプ



1990 バンプめっき装置



1992 CMP装置 湿式排ガス処理装置

1998 電子線検査装置 ベベル研磨装置

2018 新型
ドライ真空ポンプ



- 社会インフラの強靱化をサポート

- 環境配慮型製品の普及

- 5大陸でより多くの人に
使われるメカへ

- 焼却施設での発電効率向上
による再生可能エネルギー
の増加

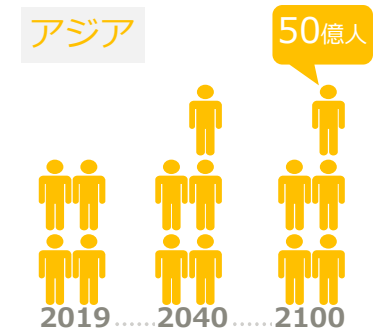
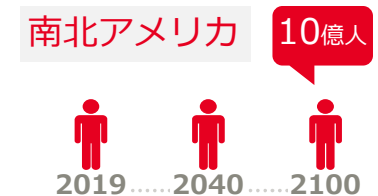
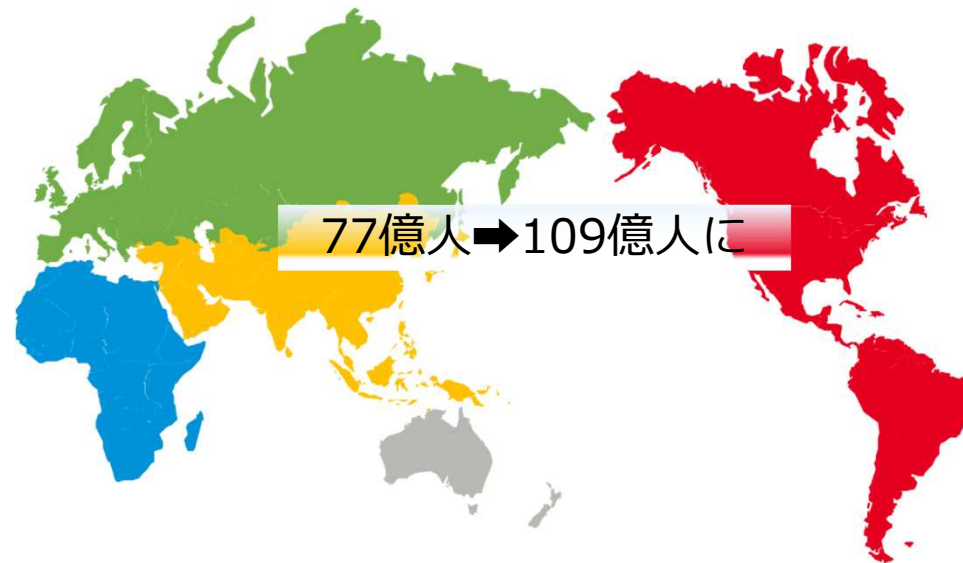
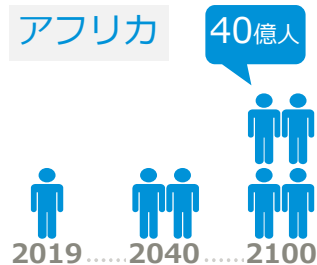
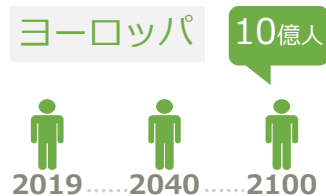
- ケミカルリサイクル技術の
普及

- 進化する半導体技術を支える
製造装置・機器の提供

- 半導体製造工程における
環境負荷低減への貢献

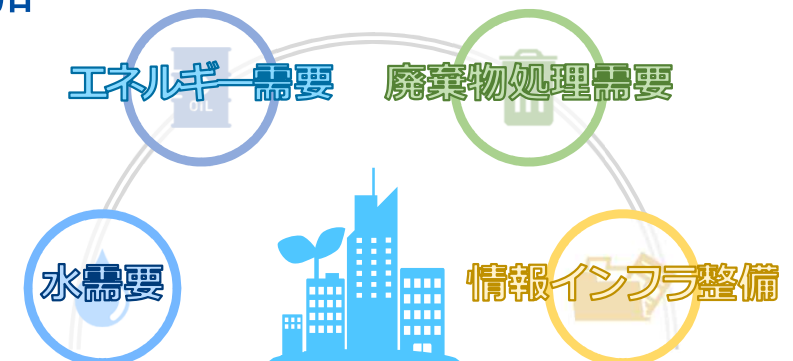
今後100年を見据えた世界の課題

■ 国連による2100年までの世界人口予想



■ 気候変動・人口増加に伴う課題と需要の増加

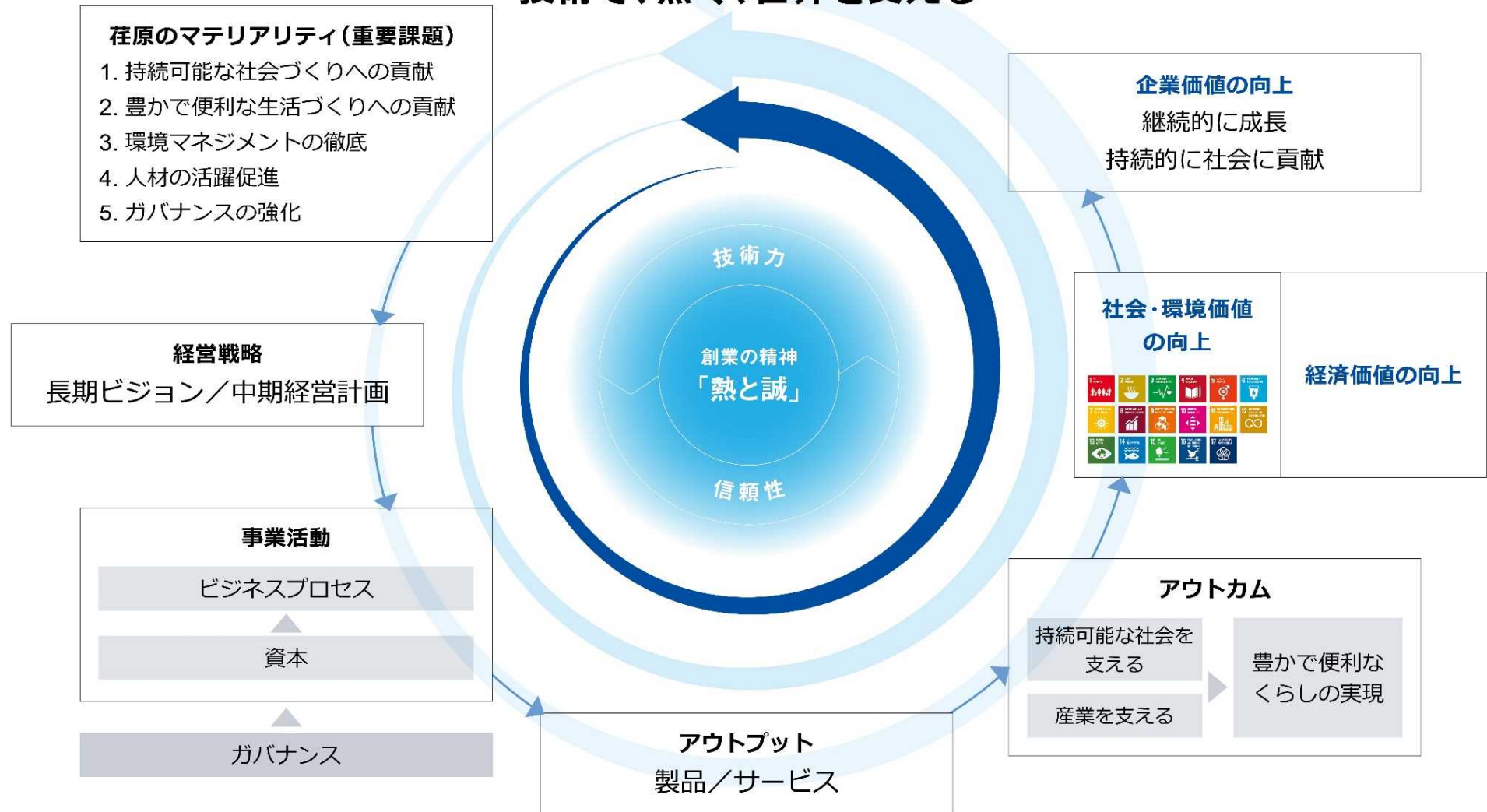
- ✓ 温暖化による異常気象の拡大と自然災害の激甚化
- ✓ 海面上昇による高潮や陸地の侵食
- ✓ 食料や水の資源枯渇 等
- ✓ 様々な問題のアジア・アフリカへの拡大



E-Vision2030

「技術で、熱く、世界を支え」続けるための 価値創造ストーリー

荏原が目指す姿、ありたい姿
技術で、熱く、世界を支える



2030年に向けて解決・改善していく重要課題

■ 5つのマテリアリティ



1. 持続可能な社会づくりへの貢献

技術で、熱く「持続可能で地球にやさしい社会、安全・安心に過ごせる社会インフラ、水や食べるものに困らない世界」を支える



2. 進化する豊かな生活づくりへの貢献

技術で、熱く「世界が広く貧困から抜け出す経済発展と、進化する豊かで便利なくらしを実現する産業」を支える



3. 環境マネジメントの徹底

2050年のカーボンフリーに向けて、再生可能エネルギーの最大限の利用を含めた、CO₂削減を推進する



4. 人材の活躍促進

「競争し、挑戦する企業風土」を具現化する、多様な社員が働き甲斐と働きやすさを感じて、活躍できる企業グループとする



5. ガバナンスの更なる革新

成長へのビジョンを描き、グローバルで勝ち続ける経営を後押しする攻めと守りのガバナンスを追求する

「1.持続可能な社会」「2.豊かな生活」を目指す成果例

■ CO₂約1億トンの温室効果ガスを削減し、気候変動抑制に寄与

CO₂約1億トンのイメージ

日本の年間総電力使用量（2018年実績）の発電時に生じるCO₂は5億トン（PFCsガスが排出するCO₂は含まず） ➡ 1億トンは当該総量の2割に相当



取り組みの発展・伸長

ポンプの省エネ・高効率化

モータとインバータの一体化技術を使用し、業界最小クラスの製品を国内で販売開始

➡ 今後も、客先での消費電力を最小化



高性能・高効率な排ガス処理装置

グローバルな体制で開発・拡販

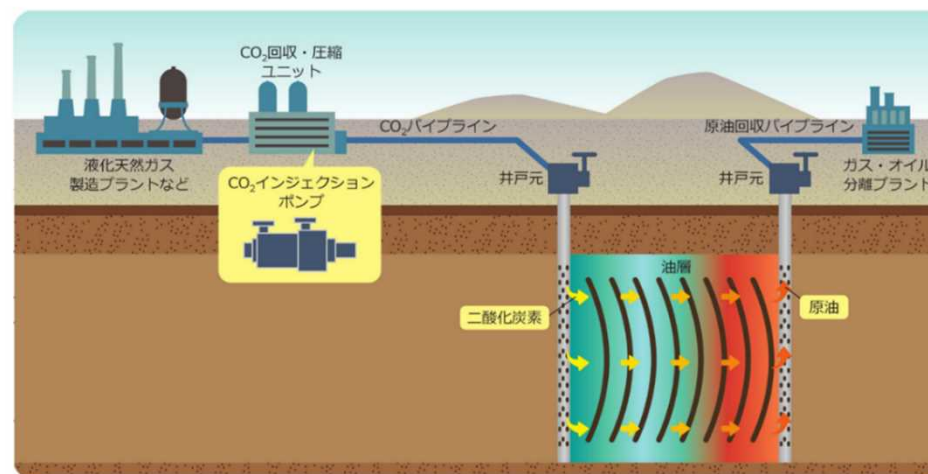
➡ 温暖化係数の高いガスをさらに効率的に処理



石油・ガスプラントでのCO₂削減に貢献

インジェクションポンプでCO₂を地中に隔離

➡ CO₂の回収・利用・貯留（CCUS）に貢献



「1.持続可能な社会」「2.豊かな生活」を目指す成果例

■ CO₂約1億トンの温室効果ガスを削減し、気候変動抑制に寄与

「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」への署名・活動

金融安定理事会(FSB)が設立し、気候関連のリスクと機会に関する企業の情報開示を支援し、低炭素社会への円滑な移行により金融市場の安定化を図る取り組み。当社はその趣旨に賛同・署名し、気候変動に対応する活動を推進しています。



新たなチャレンジ

水素エネルギー分野への参入

水素社会の実現に向け、液体水素ポンプの開発及び市場投入
NEDOの水素社会構築技術開発事業に参画、2022年技術実証予定

➡ 2025年頃の商用実証、2030年頃の水素発電及び国際的水素サプライチェーンの商用化*に貢献

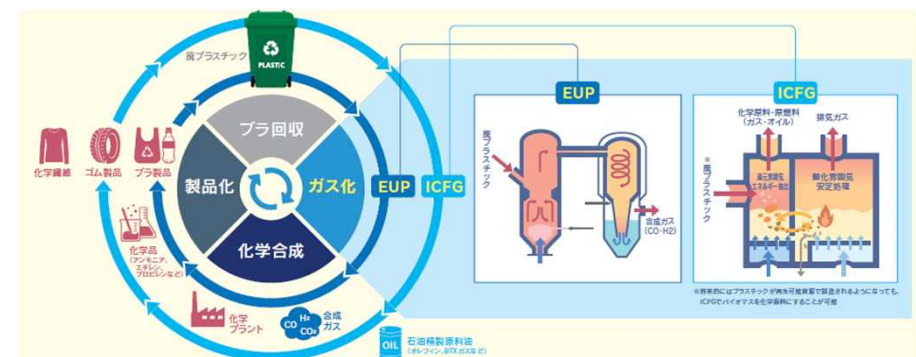
*METI 水素・燃料電池戦略ロードマップによる



ケミカルリサイクルの推進

日揮グローバル株式会社とEUP(Ebara Ube Process)のライセンス実施許諾権契約を締結
内部循環流動床ガス化炉(ICFG)の活用

➡ 廃プラスチックのケミカルリサイクル普及を目指す



「1.持続可能な社会」「2.豊かな生活」を目指す成果例



■ 6億人に安全な水を届け、貧困脱却などにも貢献

今、安全な水を手に入れない人は世界で6億人を超えるとされています。
世界の人口が増加していく中、水汲みを仕事とし、学校に通えない子どもたちを減らすためにも、荏原は安心・安全な水を広く届けていきます。



取り組みの発展・伸長

標準ポンプのシェア拡大

- E-Plan2022で10か所以上の拠点設立、カバレッジ拡大（アフリカ・中南米）
- ・6月 ブラジルにアンテナショップ開設
 - ・7月 ベトナムに物流センター設置
 - ・9月 メキシコ拠点開設

➡ E-Vision2030中にシェア5%程度伸長



新たなチャレンジ

電気の通っていない地域にも水を届ける

電気が通っていない地域のニーズに対応するためブラジルでソーラーポンプ販売開始、拡販強化
ブラジル以外でも製品投入検討予定

➡ 国ごとのニーズを的確に把握し
世界中のより多くの人に水を届ける



「1.持続可能な社会」「2.豊かな生活」を目指す成果例



■ ICAC5に貢献し、14 Åの世界に挑戦

ICAC5 (IoT、クラウド、AI、自動運転、5G) が半導体需要を押し上げ、それに伴い半導体チップの性能は驚くべき成長を遂げています。2030年頃には、最先端の半導体デバイスは14 Å (オングストローム、100億分の1m) 世代に突入すると予測されています。



取り組みの発展・伸長

ドライ真空ポンプの自動化工場を建設

藤沢事業所内に新工場棟を建設
来期より本格的に自動化工場でドライ真空ポンプの生産を開始
コスト・納期に加え、品質向上・安定に寄与

➡ 成長する半導体業界に広く貢献



新たなチャレンジ

最先端のEUV露光装置への対応

EUV露光装置向け真空ポンプ排気システムを開発・販売
EUV露光装置を24時間稼働サポート
稼働を止めずにメンテナンス可能

➡ 最先端技術の発展に寄与



「4. 人材の活躍促進」のために

■ 働きがいと働きやすさを向上させ、企業風土を変革

「競争し、挑戦する企業風土」を具現化する、多様な社員が働きがいと働きやすさを感じて活躍できる企業グループを、with/Afterコロナを踏まえながら、グローバルで目指していきます。



取り組みの発展・伸長

「働きがい」の追求

脱年功の役割・実力主義制度へ
国内全社員の人事制度を役割ベースに
2018年より順次改定（済）

役割等級・サクセッションを
グローバルに展開し、更なる
適材適所・人材育成を実現

新たなチャレンジ

「働きやすさ」の追求

場所や時間の制約にとらわれない
柔軟で働きやすい職場環境へ

在宅勤務制度、
サテライトオフィス、
Web会議の推進 等

両輪そろって「競争し、挑戦する企業風土」の土台を形成

グローバルに統合された
社員のエンゲージメントを高める人事体制
"One Ebara HR"への変革を加速

新型コロナウイルス対応により
"働きやすさ"の向上が先行

新事業の発掘・エンゲージメント向上を目指す 新しい取り組み



■ 新規事業アイデアコンペティション 「E-Start2020」

- ✓ 新規事業アイデアを社員から公募、応募総数120件
- ✓ 入賞したアイデアは今後事業化に向け具体的な検討を実施



■ Ebara Global Challenge Award

- ✓ 新しいことへのチャレンジを評価する表彰制度を新設
- ✓ 個人の変化を促し「競争し、挑戦する企業風土」への変革を目指す



持続的に成長し、社会に貢献していくため 「サステナビリティ委員会」に

■これまでの経緯

2005年	企業倫理委員会発足	コンプライアンスに違反しない企業づくり
2011年	CSR委員会に変更	社会的責任を果たすための取り組み推進
2020年	サステナビリティ委員会発足	持続可能な社会づくりに貢献する

■サステナビリティ委員会とは

長期的視点で世界・社会の課題を展望し、当社が貢献できることや事業環境変化への対応などを議論する

第1回：気候変動への対応（TCFD）の社会の趨勢と当社グループ事業の機会・リスク

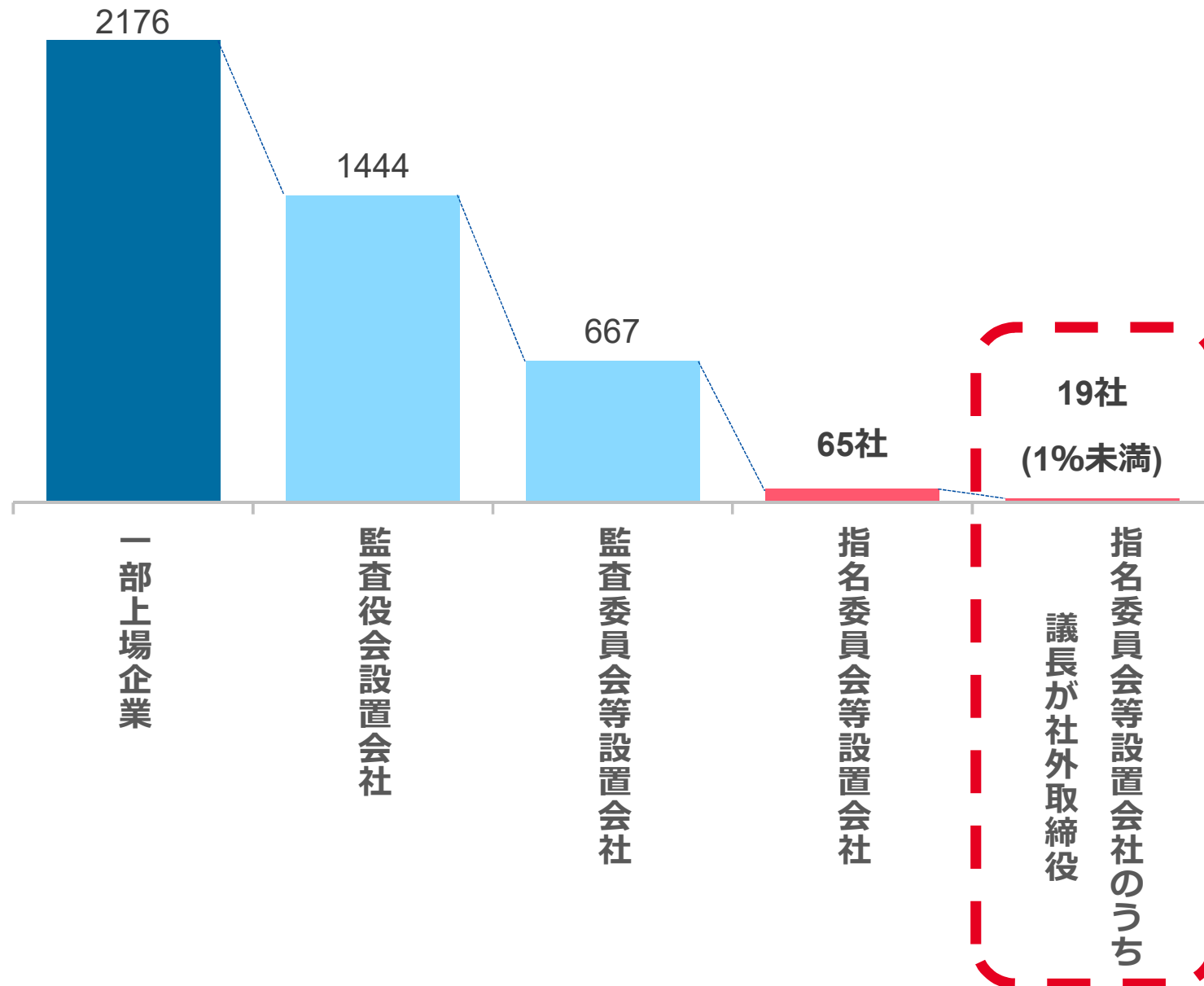
第2回：「CO₂1億トン削減」「6億人に水を届ける」「14 Åへの挑戦」に向けた戦略・取り組み、上記以外の成果目標

➡ 重要課題解決に向けたKPI・目標設定、進捗モニタリング・報告を行っていく

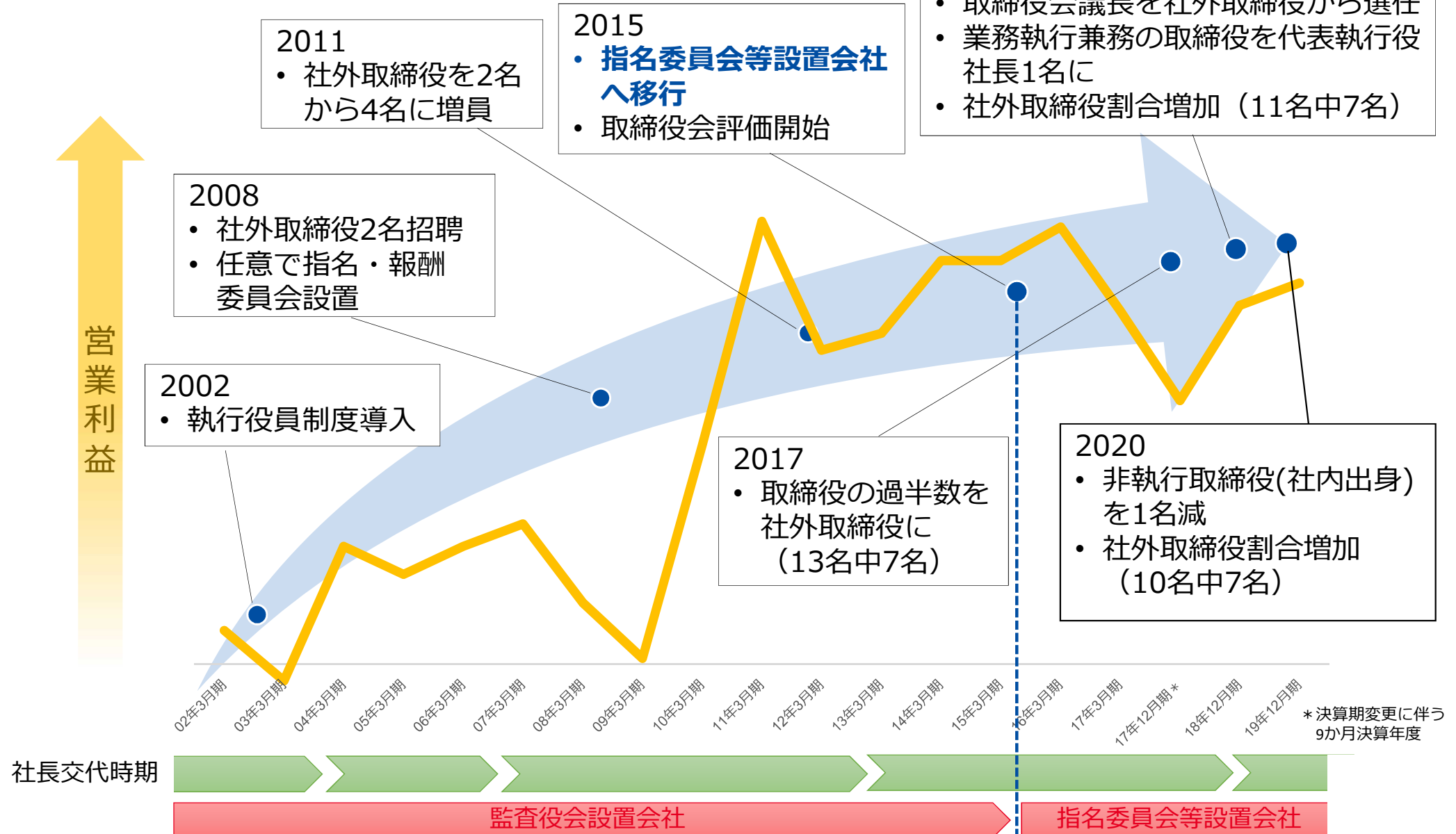
2. ガバナンス

社外取締役 取締役会議長
宇田 左近

日本のコーポレートガバナンスの状況



荏原のガバナンスの変遷



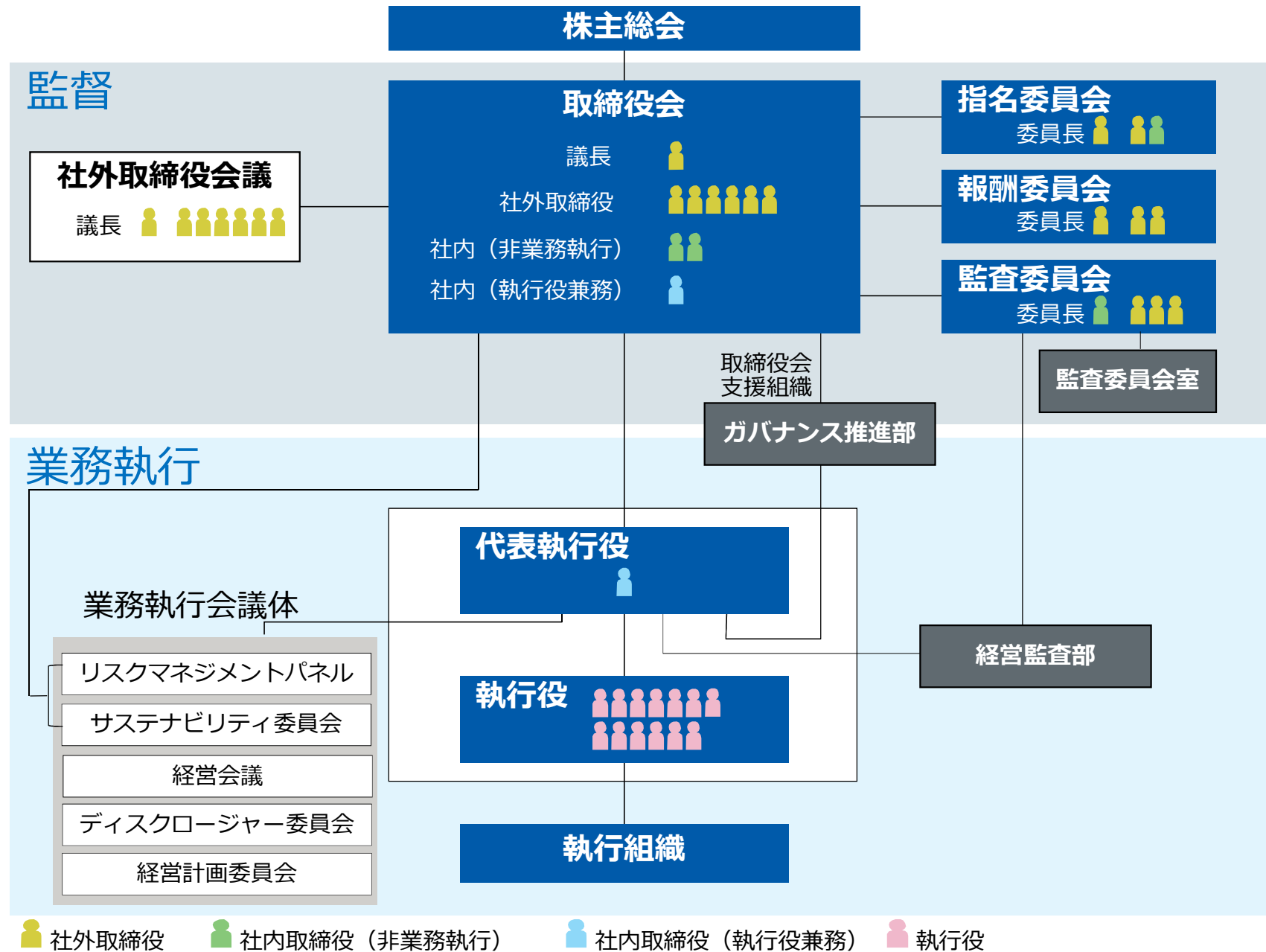
ガバナンス上の鍵となるポイント

- 指名委員会等設置会社における指名委員会の役割、構成及び社外取締役委員長の役割
- 取締役会の役割とそれに応じた取締役の構成の重要性
- 取締役選定における指名委員会の役割
- 社外取締役が取締役会議長を務める意味
- 社外取締役会議の意味
- コミットメントと組織からの信頼

取締役会の構成(取締役選任議案・統合報告書に掲載)

氏名		属性 就任委員	当社が取締役(非業務執行取締役)に特に期待する分野*1								
			法務 リスク管理	人事・ 人材開発	財務・会計 資本政策	監査	企業経営 経営戦略	研究・開発	環境	社会	内部統制・ ガバナンス
前田 東一	取締役会長 指名委員会委員	非執行 指名委員									
浅見 正男	取締役 代表執行役社長		—	—	—	—	—	—	—	—	—
宇田 左近	社外取締役 取締役会議長 指名委員会委員	社外 独立役員 指名委員									
澤部 肇	社外取締役 報酬委員会委員長	社外 独立役員 報酬委員									
山崎 彰三	社外取締役 監査委員会委員	社外 独立役員 監査委員									
大枝 宏之	筆頭社外取締役 指名委員会委員長	社外 独立役員 指名委員									
橋本 正博	社外取締役 報酬委員会委員 監査委員会委員	社外 独立役員 報酬委員 監査委員									
西山 潤子	社外取締役 監査委員会委員	社外 独立役員 監査委員									
新任 藤本 美枝	社外取締役 報酬委員会委員	社外 独立役員 報酬委員									
藤本 哲司	取締役 監査委員会委員長	非執行 監査委員									

ガバナンス体制



「独立社外取締役」の心構えのまとめ

- 1) 独立社外取締役には執行からの独立性と当該企業の本質的な課題把握の両立が必要。
- 2) 企業の本質課題把握は取締役会が中長期的課題を議論するうえで不可欠。
社外取締役会議は本質課題把握プロセスとして重要。
- 3) 取締役会に「答えのない時代の成長の後押し」を期待する場合、
取締役の構成は「集合知の創造が可能なポートフォリオ」で考える。
- 4) 指名委員会等設置会社の指名委員会は「誰がなぜどういうプロセスで取締役（社長も含めて）を選定したか」を取締役に説明できることを念頭にその役割を果たす。
- 5) 指名委員会の判断には「戦略性」「独立性」「信頼性」が必要となる。
- 6) 独立社外取締役は自身の役割を明確に理解する必要がある。
役割を果たす場合には、相当の時間的コミットメントが必要となる。
- 7) 独立社外取締役が議長となる意味は取締役会が正しい議題を議論できるか、
「アジェンダの選定」の責任を負うということ。
- 8) 独立性は単なる取引関係などの形式論ではない。
マインドセットとして、独立性を自分の提供価値と考えられるのかが問われる。

(ご参考) 社外からの評価



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

2020 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI 日本株
女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

2020



Sompo Sustainability Index

MSCI
ESG RATINGS



CCC	B	BB	BBB	A	AA	AAA
-----	---	----	-----	---	----	-----



*株式会社荏原製作所のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による株式会社荏原製作所の後援、宣伝、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。